



校訓 『向学』『友情』『創造』

回覧用

古賀北中 学校だより 10月号

令和3年10月8日 No.6

古賀市立古賀北中学校
校長 早川 昌吾

生徒数 565名

1年生	184名
2年生	180名
3年生	201名

前期終了、半年間の自己の学びに対する取り組み方と
他者と関わり、よりよい学校生活について振り返ってください

1 「通知表」の見方について

10月8日（金）をもって、古賀北中学校における教育課程前期が終了となります。

まず、一番気になるところは、「通知表」が返ってくるということだと思います。学校だより6月号でもお知らせしていたように、本年度から「観点別評価」が全教科3観点（知識・技能、思考・判断・表現力等、主体的に学習に取り組む態度）で評価することになっています。各単元や領域ごとに授業への取り組み、レポートや作品、実技テスト、実験、小テスト、定期テストなどの評価資料をもとに、総合的に単元や領域の観点別評価を行います。この観点別評価とは、学習内容ごとに設定された目標に準拠した評価です。目標に準拠した評価とは、学習内容（単元）毎に評価規準を定め、その規準に対してどこまで達成されたかを評価するものです。この評価は、他の生徒との比較ではなく、個人の学習達成度と評価規準を照らし合わせた評価となります。したがって、本人の努力が学習成果に反映されやすい形となります。



古賀北中学校の「観点別評価欄」の表記はA, B, Cの3段階ですが、本校では観点別評価をさらに細かく5段階で評価しています。（A, B+, B, B-, C）その評価を「総括」して、1～5段階で、いわゆる「評定」として表しています。従って、通知表においては、観点別評価が「B, B, B」で評定が「4」「3」「2」ということもあり得ることになります。

2 これからの「評価」の在り方について

前段で述べているとおり、これからの評価は「できる、わかる」の知識・技能だけではなく、身につけた基礎的な知識・技能をさまざまな場面で活用する力や他者の考えを自己の考えと組み合わせる新しい考えを創造していく力を身につけることが望まれています。さらに、自己の学びを調整したり、それを粘り強く取り組む姿勢を身につけたりすること、それらが評価する際の大きな視点であることを理解してください。

例えば、保健体育科の球技（ゴール型）の学習であれば、「安定したボール操作」という技能が十分に身につけていなかったとしても、「空間を作り出すなどの動き」つまり「ボールを持たないときの動き」の大切さを理解し、実践したり、そのために仲間と積極的に打ち合わせして、チーム全体の動きに連動性がみられたりするようになれば「思考・判断・表現」の観点が高く評価されたりします。つまり、「チーム内での役割の果たし方」を理解し、工夫しながら練習したり、自己の考えを表現したりすることで十分評価されるということです。



前期における各教科の評価を、今後の学びに向かう姿勢に活かしてください。

3 前期を振り返り、後期の目標を立てる際の3つの視点

前期の学習・生活を振り返り、後期の目標を決める際、大切になる3つの視点を生徒のみなさんに示しています。本校の重点目標の一部でもある「人と関わるよさを実感できる生徒の育成」に向けて、また、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を磨く上で大切な視点です。他者との関わりの中から自分の考え方を磨き、新たな気づきを育み、よりよい自己の生き方を探してほしいと思います。（玄関前掲示板に掲示しています）

（視点1）つながる（人間関係形成）

他の人の考えや個性を受け入れ、協働活動や話し合い活動を通してよりよい人間関係を創ることに對して、前期はどうでしたか？ また、後期どうですか？

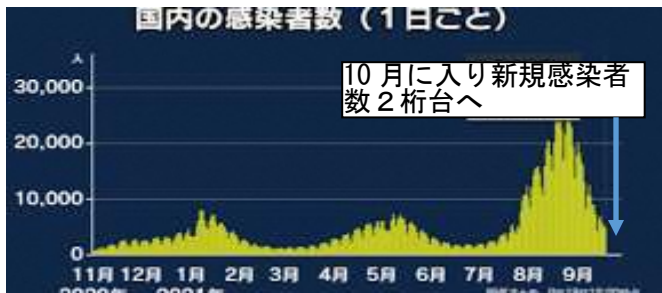
（視点2）ささえる（集団参画）

学級・学校生活づくりを自分事として捉え、任された役割を果たしながら学級や学校をよりよくするために、自ら進んで参画することに対して、どうですか？

（視点3）かなえる（自己実現）

集団と自己との関係を保ちながら、自己の課題を見つけ、よりよく改善することを通して、現在および将来の自己の生き方・在り方を考えることに對して、どうですか？

緊急事態措置解除！しかし、油断せずに取り組みとおす！



福岡県は、9月30日(木)をもって緊急事態措置が解除され、10月1日(金)から飲食業者は段階的解除ですが、各学校においては感染防止対策を継続させながら通常の生活へともどしていくことになりました。北中においても措置期間中は「清掃活動の簡素化」と「全曜日5時間授業」という対応をしてきましたが、10月4日(月)よりすべて通常どおりの生活にもどすことになりました。

ただし、このような「措置～解除」という流れに慣れてしまって、今後の生活に「緩み(ゆるみ)」がでてはいけません。今後も特に以下の3点に注意して生活していきましょう。北中の「リンク・コール(呼びかけ)&リンク・レスポンス(反応)」を大切にしていましょ。今後もご家庭における健康記録等、ご協力よろしくをお願いします。

- ① マスクを外して対面で会話しない
- ② 体育や部活での共有物は使用前消毒および手洗いを徹底すること
- ③ 3密の回避(密閉、密集、密着)

3年生 高校の先生方による「高校出前授業」を体験

9月9日(木)から2日間、3年生は高校の先生方に来校していただき、授業を受ける「高校出前授業」を体験しました。9日には福岡工業大学附属城東高等学校の校長 佐伯道彦先生の講演を聴かせていただきました。佐伯校長先生のお話は、3年生にとって今後の進路選択を含めた人生設計を考える上で大変タメになるお話でした。また、たくさんの高校の先生方の専門的な授業を体験し、進路選択する上で参考になった生徒も多かったと思います。コロナ禍の中、北中3年生のために時間と労力をつかっていただいた高校の先生方に感謝の想いでいっぱいでした。



中体連新人大会開催を延期し、実施することが決定

本来なら10月2日(土)3日(日)をメインに中体連糟屋区新人大会が開催される予定でしたが、緊急事態宣言下、延期を余儀なくされました。しかし、開催時期を1週間延期し、なんとか開催できそうです。



(写真は、10月2日開催された筑前陸上新人大会)ただし感染対策のため、「大会前後2週間の健康チェック」「無観客」を条件に実施する開催です。保護者の皆様におかれましては、「健康チェックカードの記入」「無観客開催」に対しましてご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。

タブレット端末の持ち帰り練習を1・2年生も行いました

9月17日(金)にタブレット端末の持ち帰り練習をしました。今後、新型コロナウイルス感染症第6波に備えるなど、さまざまな機会に持ち帰ることになると思います。



新しい取り組み 始めます！ ヒューマン・ライツ・ミーティング

ヒューマン・ライツ・ミーティング (human rights meeting)。一言でいえば「人権について考える集会」我々北中に関係する人達で、「人を大切にすること」「仲間を大切にすること」そして「自分を大切にすること」についてみんなで『自分事』として考える一日にしたいと考えています。見つめる視点は「世界」や「身近な友達との関係」などさまざまですが、「人」「仲間」「自分」が大切にされる温かい社会や集団を自分たちで創っていけるように、みんなで考えてほしいと思います。期日は、11月13日(土)です。



10月の主な予定

- ◇8日 前期終業式
英検一次
- ◇9日 糟屋区新人大会
- ◇10日
- ◇11日 後期始業式
「平和劇」鑑賞
生活アンケート
- ◇13日 耳鼻科検診
筑前地区駅伝大会
- ◇28日 「性教育講演会」

11月の主な予定

- ◇1日 3年学力分析テスト
- ◇6日～ 筑前地区新人大会
- ◇10日 3年 後期中間考査
- ◇11日 全学年後期中間考査
～12日
- ◇13日 土曜授業
<ヒューマンライツミーティング>
- ◇15日 振替休日(13日分)
- ◇18日 3年 クラスマッチ
- ◇20日～筑前地区新人大会
- ◇25日 生徒会役員選挙
- ◇26日 総合専門委員会
- ◇29日 2年 マナー講座
～30日
- ◇29日～全学年 教育相談